

令和7年度 瑞浪北中学校 経営方針

(赤字は重点ポイント) 2025.4.1 校長

1

学校の教育目標 (教育を通じた普遍的・不変的・包括的な目標)

自ら学び 自ら鍛える

2

校 訓 (学校教育目標の核・後ろ盾)

集中と継続

3

めざす学校 (学校としてのめざす姿)

地域と結びつく学校

4

令和7年度のキーワード (今年度の重点)

校訓『集中と継続』

◇昨年度・一昨年度のキーワードは、トータル的に自身の姿を振り返って評価する流れであった。その為、日常的・継続的な意識には弱さが見られた。そこで、どんな場面でも大切であり、土台となる、校訓『集中と継続』をキーワードとして、年間を通して、意識・姿の定着を図っていくことを目指す。それによって、個人・集団の高まりの自覚に繋がることを期待する。
【指標：生徒アンケート『集中と継続』への意識と姿：1,2学期末80%以上、学年末90%以上】

5 学校経営の重点

(指導の在り様とめざす姿)

日常の様々な状況下、『集中と継続』をキーワードとした取組を展開し、タイムリーな振り返りを行って、次の目標設定、現状の改善を重ねることで意識の高揚を図り、めざす姿として体现することができる

(1) **自ら考え、求め、**他と切磋琢磨する中で生きる力を育てる

【学習部】

学 習 指 導	一人一人が じっくりと考え、求め、 「わかった」「できた」を実感し、自身の学習改善につながる学習指導 【指標：生徒アンケート(積極的な授業姿勢・家庭学習の 継続)：70%以上】
道 徳 教 育	自己をじっくりと見つめる心 と、他を深く思いやる心を育てる道徳指導
特別支援教育	一人一人の現状やニーズを明確にし、自立に必要な力を育てる特別支援教育
進 路 指 導	常にキャリア教育の視点を意識し、自己を生かし伸ばす進路指導
人 権 教 育	互いのよさを認め合い、自他の大切さを認めることができる人権教育
総合的な学習	地域の環境に対して 自分の考えをもち、よりよくしようとする意識を高める 総合的な学習

(2) 自己決定による**継続力**・責任感を求め、たくましさ育てる

【特活部】

生 徒 指 導	自己判断力・実行力を高める 生徒指導 (SNS等の情報リテラシー)
学年・学級経営	一人一人の粘り強さ・力強さが表出する 学年・学級経営 【指標：生徒アンケート(学級・学年への所属感)：80%以上】
特 別 活 動 (行事)	困難や失敗、停滞状況にも個・集団で立ち向かい、個の力・集団の凝集力を高める特別活動
生 徒 会 活 動	自治力を育み、集団のまとまりや学校・地域への誇り、愛着を生み出す生徒会活動

(3)報・連・相を徹底し、生徒の安全安心、命や身体を守ることを最優先する

【生健部】

保 健 安 全	危機感と最悪事態のイメージを忘れず、生徒の笑顔を守る保健安全指導 (感染症・熱中症予防・防災対策を粛々を行い、状況把握に基づき、迅速な措置が取れるようにする)
教 育 相 談	迅速かつ親身な対応を心がけ、生徒の不安や悩みに寄り添う教育相談
環 境 整 備	・日常的な整理整頓、週3回の清掃活動の充実による環境整備への意識高揚 ・スーパーエコスクールとしての機能の有効活用 【指標：生徒アンケート(環境美化への意識・行動、スーパーエコスクールとしての自覚)：80%以上】

(4)地域の一員としての自覚を高め、主体的な地域連携ができる生徒を育てる

【全職員】

地 域 連 携	・主体的な地域連携による地域の一員としての自覚の向上 ・C S・地域学校協働活動の円滑な運営 【指標：生徒アンケート(地域への愛着度)：80%以上、 学校運営協議会委員アンケート(生徒の地域への貢献度)：70%以上】
---------	---

6 経営の基盤（教師の在り様）

(1)特支、教育相談、生徒指導の観点

- ①報・連・相を徹底し、全ての教育活動、生徒理解や事案の対処に（特支→教相→生指の観点を持ち、）組織として取り組む。**タイムリーさを欠かない。**
- ②生徒の成長を第一として、生徒の声をよく聴き、生徒理解に努め、温かさと厳しさの両面を兼ね備えた職員集団を目指す。

(2)保護者や地域との信頼関係の構築

- ①常に最悪の事態を想定し、「目の前にしている生徒にとってどうか。」を全ての判断基準とし、生徒の安全・安心、命や健康を最優先する。
- ②保護者や地域からの相談や情報提供については、**即日対応・確実対応**を常とする。
- ③地域と良好な関係を築き、（瑞浪北中は5地区に）支えられていることを常に意識して指導にあたる。

(3)教科の専門家として知識や技能を十分に有し、その本質に基づく魅力的な授業の創造

→瑞浪市教育指導の方針と重点 モットー『授業で子どもを変える 授業で学校を変える』

- ①過去の実践の繰り返しではなく、生徒の意欲や関心を引き出す「魅力的な教材開発、指導過程や授業に動きや形態の変化」を取り入れ、主体的に学習に向かう生徒たちに、楽しさと勢いを与える。

(4)社会人としての常識やマナーを兼ね備えた職員集団

- ①ハラスメントのない・許さない職場にするため、一人一人が意識するとともに、万が一の場合はためらわずに進言する。誰もが元気で、思い切り取り組むことができる職場にする。
- ②温かい言葉遣いや素早く丁寧な応対、美しい環境づくりを自ら実践し、保護者の信頼を集めることができる。（来校者・電話対応も同様）
- ③共通理解の弱さや独断による方向性の相違を生み出さないよう、教師自身が学び合い、スタート地点の共通理解・共通行動を強化し、「全教職員で生徒を育てる」という意識を常にもつ。
- ④メリハリのある勤務を自身で構築する（見通しとON・OFFの切り替え）。

<教師の基本>

○「師弟同行」（姿で指導） ○「率先垂範」（意欲で指導） ○「受容と毅然」（心で指導）